

第8回 地震で被災した土壁の修復技法を考える

自然材料の土壁は安らぎのある豊かな風情、調湿性、ホルムアルデヒド等の吸収効果、防火・耐震性、廃棄後は自然に還りCO₂排出量も少ない等、他材料にはない様々な優れた特性を持つ多機能材料です。塗り重ねや再利用ができるため、適切な設計・施工と維持管理をすれば長寿命の住まいを造ることができます。一方、京都の土壁の耐震性の高さは各所の実験で確認されていますが、建築基準法上の評価が低く、また、土壁に対する知識・情報不足のために土壁を使い難い状況になっています。

そのため、土壁の特性に対する正しい知識と最新研究成果を学び、1300年の歴史をもつ土壁文化を住まい・まちづくりに活かして次世代につなげていくための各種課題の解決策を皆で考え、成果を社会に還元するシリーズ公開研究会を開催しています。市民、建築実務者、研究者、行政等の様々な分野の方々との連携で取り組む予定です。お気軽にご参加下さい。

地震大国日本の各地で近い将来の大地震発生が危惧されている。土壁は地震で損傷しても壁土を落として下地を適切に補修、補強して再利用できる場合が多い。しかし、同時に各地で多発する広域災害のため、知識・職人不足、コストの制約、工期の長さ等のために、地震を契機に土壁文化が一気に消滅する可能性が高い。そのため、地震で被災した土壁の修復技法の考え方をこれまでの被災地での教訓をふまえてさまざまな視点から学ぶ。

1. 「歴史的建造物の地震による被災状況と修理 左官工事を中心に」

村上 裕道^{やすみち} (兵庫県教育委員会事務局参事兼文化財課長)

歴史的建造物の漆喰壁の材料と施工方法、土壁の構造実験や、阪神・淡路大震災をはじめとする各地の漆喰壁等の被災状況と修理事例を通して、左官壁の被災の程度に応じた修理方法の考え方を学ぶ。

2. 意見交換「土壁の修復の技法をどう体系化するか？」

これまでに被災地で損傷した土壁の修復支援に携わった左官職を含む様々な分野の方々を交えて、「被災の種類や程度に応じた修復技法(日常の維持管理を含め)を適切に選択して対処するためにはどうすればよいか、何が必要なのか、などを議論する。



雨漏りの放置による土壁の劣化、下地の腐朽が被害を拡大した例 *



過去の水害時の浸水による土壁の劣化、下地の腐朽の放置が被害を拡大した例 *

地震被災地で見られた土壁の被害事例とその主な被害原因(推定)

* 関西木造住文化研究会、「大地震に備えて手を打つための処方箋 被災住宅修復支援プロジェクトから全国につなぐ震災の教訓」、2009

会場 西陣ヒコバエノ家（京都市上京区上立売通浄福寺西入ル姥ヶ東西町632）
 参加費 無料、但し、資料代実費 500 円
 研究会終了後の懇親会参加費 500 円（飲み物、軽食付）
 定員 50 名（参加申込み先着順）
 参加方法

2月17日（月）までに、お名前、所属、電話番号、FAX番号またはメールアドレス、懇親会参加の有無を明記の上、FAXまたは電話、メールで下記までお申し込み下さい。

シリーズ公開研究会のワーキングメンバーとして参画・ご協力いただける方は申込み時にその旨を併記して下さい。

お申込みと同時に参加受理とさせて頂き、ご連絡は定員締切後に申込みのあった方のみにさせていただきますのでご了承下さい。

参加申込先 関西木造住文化研究会（略称 KARTH：カース）
 TEL 075-411-2730 悠計画研究所内、FAX 075-411-2725、
 E-mail info@karth.sakura.ne.jp <http://karth.blog13.fc2.com/>
 京都市上京区上立売通浄福寺西入ル姥ヶ東西町 632

会場には駐車場はありません。自転車の駐輪場所は、当日、受付でお問合せ下さい。

主催 京都左官協同組合、関西木造住文化研究会

共催 公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター

協賛 一般社団法人日本建築学会近畿支部、一般社団法人京都府建築士事務所協会、
 一般社団法人京都府建築士会

後援 京都市、京都府

平成 25 年度 土壁再生シリーズ公開研究会

（会場：西陣ヒコバエノ家）

12月1日(日) 第6回 「土壁、漆喰を使って健康と地球を守る」(午後1時 5時頃)

平成26年1月26日(日)

第7回 「土壁の住まいの断熱性を高めて快適に暮らす」(午後1時 5時半頃)

2月23日(日) 第8回 「地震で被災した土壁の修復技法を考える」(午後1時 5時頃)

(不定期) 土壁の左官工事の現場勉強会の開催(予定)

会場への交通アクセス

京都市上京区上立売通浄福寺西入ル姥ヶ東西町 632

（角地、お地藏さんのある家、東隣：月極駐車場）

バス停「今出川浄福寺」、または「千本上立売」、
 「千本今出川」より徒歩約5分

JR 京都駅より(所要時間 約40分)

地下鉄烏丸線「烏丸今出川」駅下車、3番出口を出た後、今出川通の烏丸今出川交差点東側バス停から西行きのバスに乗り、「今出川浄福寺」下車
 市バス利用の場合：A3の206番に乗り、バス停「千本上立売」下車、またはB2の50番、101番乗り、バス停「千本今出川」下車



土壁再生シリーズ公開研究会

これまでの開催概要(平成24年度)

会場:西陣ヒコバエノ家

第1回 平成24年 5/6(日)

「企画会議 みんなで土壁の再生方法を考えよう」

第2回 7/29(日)

「土壁をさまざまな用途、構造、規模の建物に使えるようにするための防火上の課題と対策」

1. 「土壁、木造建築をさまざまな用途、規模の建物に使えるようにするために」

長谷見 雄二 早稲田大学教授

2. 「京都の木造建築の防火対策の要点を最近の火災事例から学ぶ」

奥谷 博司 (京都市消防局警防部調査課課長)

3. 「先人に学ぶ京都のまちの防火対策」

武田真理子 (悠計画研究所、KARTH 防火・耐震研究チーム)

第3回 9/30(日)

「土壁の優れた耐震性の公的評価を得るために」

1. 京都の土壁の優れた耐震特性

「京都の土壁の優れた耐震特性」 田村 佳英(KARTH 防火・耐震研究チーム、悠計画研究所代表)

「土壁の材料特性と強度や耐力との関連」 奥石 直幸 (早稲田大学教授)

2. 京都型土壁の優れた耐震・耐久特性の公的評価を得るために

「高復元力の京都型伝統土壁を安定して施工し維持管理する仕組みづくり」

完山 利行 (一般財団法人 日本建築総合試験所試験研究センター構造部構造試験室上席専門役)

「左官技能者の立場から考える土壁の耐力を実現・維持するための品質管理の要点」

奥田 信雄 (奥田左官工業所 代表)

第4回 11/25(日)

「土壁の家に暮らす-手入れと地震後の補修・補強方法」

1. 「土壁の住まいに住み続けるために」

2. 「水害に強い土壁の住まいをつくる」

3. 「地震で損傷した土壁を再生する」

4. 「土壁修復ネットワークの構築」

奥田 信雄 (奥田左官工業所 代表)

佐藤ひろゆき (京壁井筒屋佐藤代表、京都工芸繊維大学伝統みらい教育研究センター特任教授)

第5回 平成25年 1/27(日)

「土壁の住まいの断熱性を高める」

1. 「土壁の居住特性」

奥田 信雄 (奥田左官工業所 代表)

佐藤ひろゆき (京壁井筒屋佐藤代表、京都工芸繊維大学伝統みらい教育研究センター特任教授)

2. 「土壁の魅力を活かして住まいの断熱性を高める」

宇野 勇治 (愛知産業大学造形学部建築学科 准教授、宇野総合計画事務所 代表)

3. 「歴史的まちなみの土壁文化を保全・再生する」

奥田 信雄 (前掲)、佐藤ひろゆき(前掲)

左官工事の施工現場勉強会 4/11(水) 午後1時半 3時

「京都の伝統的な左官工法を取り入れた伝統構法の木造建物の現場見学」(京都市内)

奥田 信雄 (奥田左官工業所 代表)